

# 日本館60分ハイライトコース

～60分で日本館をまるごと体験しよう～

日本館は、それぞれのテーマで結ばれた5つの展示室で構成されている。日本列島の自然、生き立ち、生き物たち、そして日本人の形成と自然との関わりをストーリーに沿ってまるごと体験してみよう。

## スタート

**1** 3F南 **Ⅰ 日本列島の素顔**  
→②亜熱帯→③暖温帯→④冷温帯→⑤亜寒帯→⑧黒潮温帯海域→⑨黒潮亜熱帯海域→⑩日本海→⑪親潮亜寒帯海域→⑫日本列島の地質→⑭日本の鉱物

**2** 3F北 **Ⅱ 日本列島の生き立ち**  
→①フタバスズキリュウ→②付加体を構成する岩石→⑦世界最古級の魚竜 ウタツサウルス→⑫コンボウガキの礁→⑬アンモナイトの海→⑮石炭をつくった森→⑰日本海の誕生とビカリアの海→⑲日本にゾウがいた頃

**3** 2F南 **Ⅲ 生き物たちの日本列島**  
→①DNAが明かす生物史→③熱帯・亜熱帯起源の海産動物→⑤高山に残った氷河時代の植物たち→⑦脊椎動物が語る島々の歴史→⑩ブラキストン線と鳥たち→⑪小笠原諸島の生き物→⑬雪を味方に生きる

**4** 2F北 **Ⅳ 日本人と自然**  
→①歴史を旅する日本人→②骨を読むー縄文人はどんな人たちだったか→④骨を読むー弥生人はどんな人たちだったか→⑦琉球人・本土人・アイヌ→⑨ほんの少し前の祖先→⑬日本人が育んだ生き物たち

**5** 1F南 **Ⅴ 自然をみる技**  
→①トロートン望遠鏡→①日本の暦のうつりかわり→⑤地震計の発達→⑥変わり続ける地震計→⑦不定時法と和時計→⑨好奇心から生まれる科学の眼

**6** 1F **1F中央ホール**  
ドームとスタンドグラス

日本館では、展示ケースやパネルの上に下図のような番号がふってあります。パンフレットに示した展示番号を探しながらまわってください。

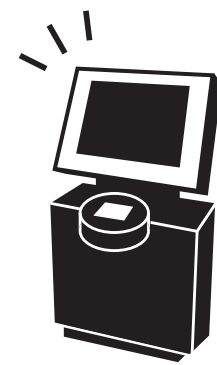


展示室番号  
ストーリー番号  
左のような番号表示の場合は、3室の2番の展示ということです。



かはくボランティア

わからない事は、  
わたしたちに気軽に  
聞いてください。



館内各所にある  
キオスク(展示情報端末)や  
かはくナビ・音声ガイド  
(有料:320円)で  
研究者の解説を聞いてみましょう。

音声ガイド  
貸し出し中!

MEMO

科博に来た日 年 月 日 曜日 天気

# 日本館おすすめコース

## 日本館60分 ハイライトコース

～60分で日本館をまるごと体験しよう～

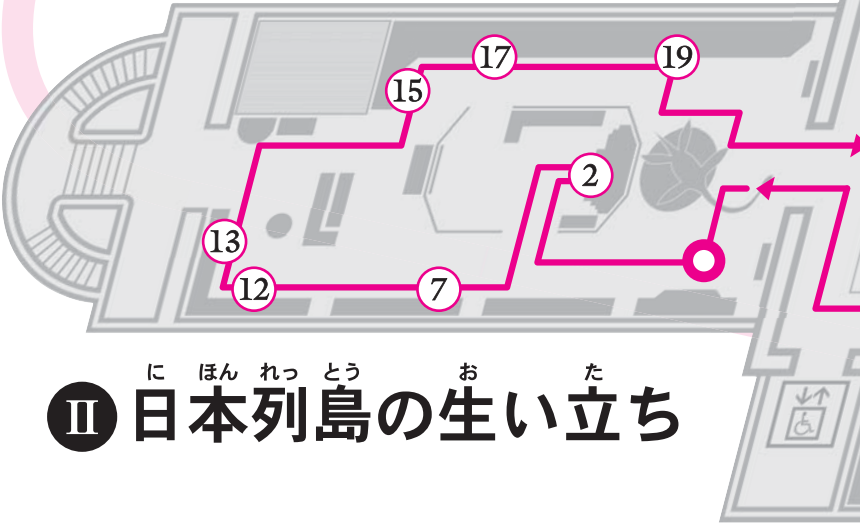


独立行政法人  
国立科学博物館(上野公園)  
http://www.kahaku.go.jp  
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

# 日本館60分ハイライトコース ~60分で日本館をまるごと体験しよう~

**2** フタバズキリュウはここだ。  
 いろいろな形のアンモナイトコレクションには  
 おどろくこと間違いなし!

きた  
3F北



Ⅱ 日本列島の生い立ち

日本の陸や海の生き物たちがいっぱい。  
 色とりどりの鉱物コレクションも  
 見ものだよ。

**1**

みなみ  
3F南

3F

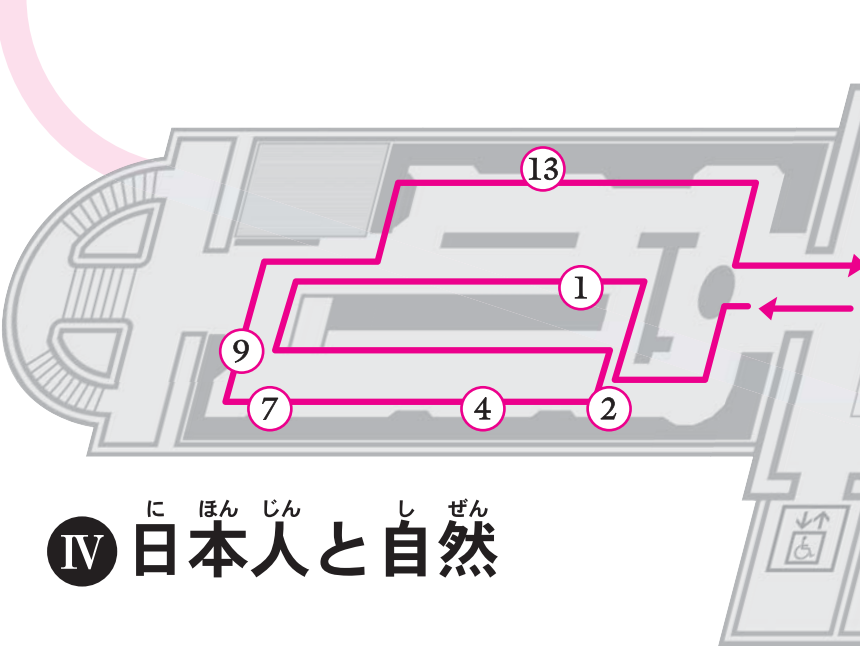
スタート



Ⅰ 日本列島の素顔

**4** 今にも動き出しそうな復元像。  
 これが私たちの祖先だ。  
 ジロもハチ公もここにいるよ。

きた  
2F北



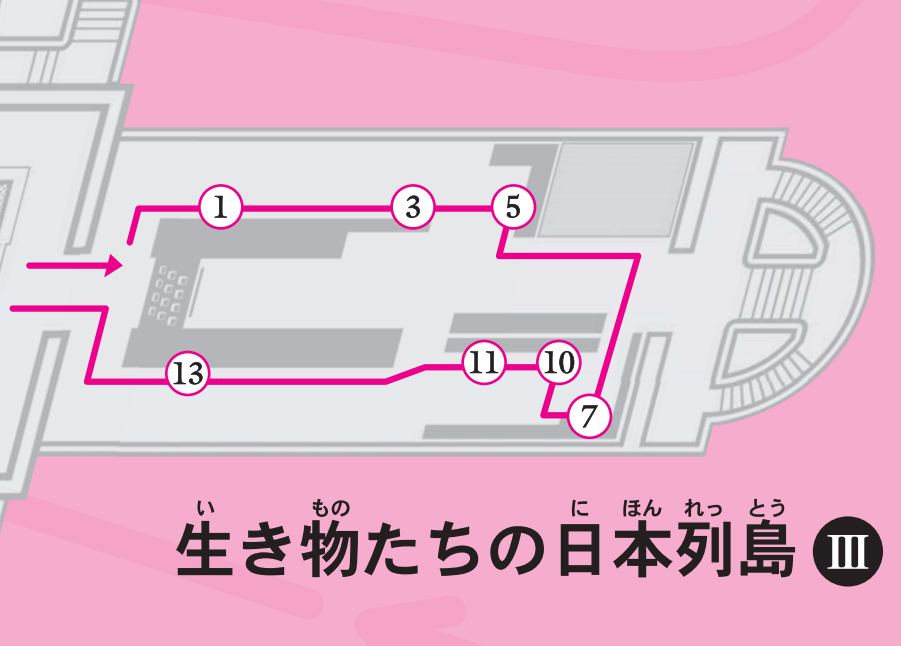
Ⅳ 日本人と自然

ここに来ると  
 日本にこんなにたくさんの種類の  
 生き物たちがいる理由がわかる。

**3**

みなみ  
2F南

2F



Ⅲ 生き物たちの日本列島

上を見よう!  
 白壁のドームとステンドグラスの  
 美を楽しんでください。

**6**

ちゅうおう  
1F中央ホール

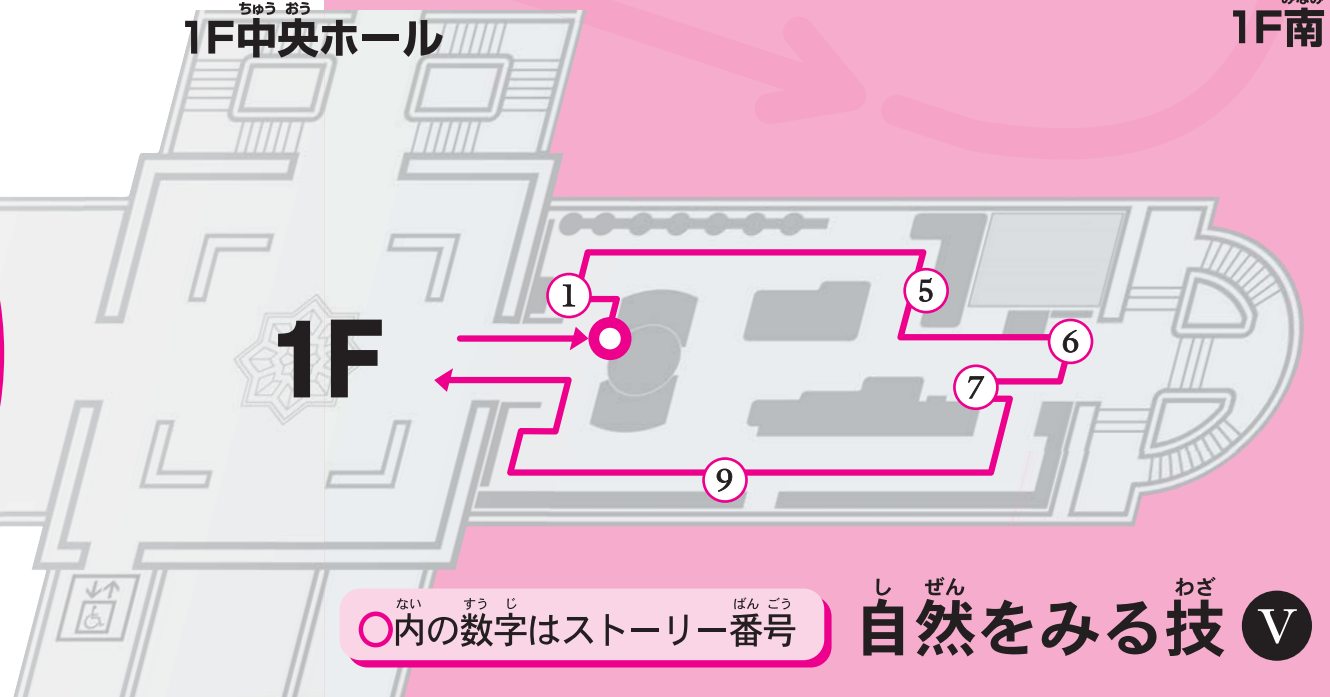
日本館は、昭和3  
 (1928)年4月に着工し、昭和  
 5(1930)年12月に竣工しました。  
 文部大臣官房建築課の設計によるネオ  
 ルネッサンス様式を基調とした建物で、  
 当時の科学技術の象徴であった飛行機型  
 のデザインとなっています。

日本人はこうやって  
 自然を観察してきたんだ。

**5**

みなみ  
1F南

1F



○内の数字はストーリー番号

Ⅴ 自然をみる技